

令和8年4月1日

第262号

関東の森林から



国民の森林・国有林

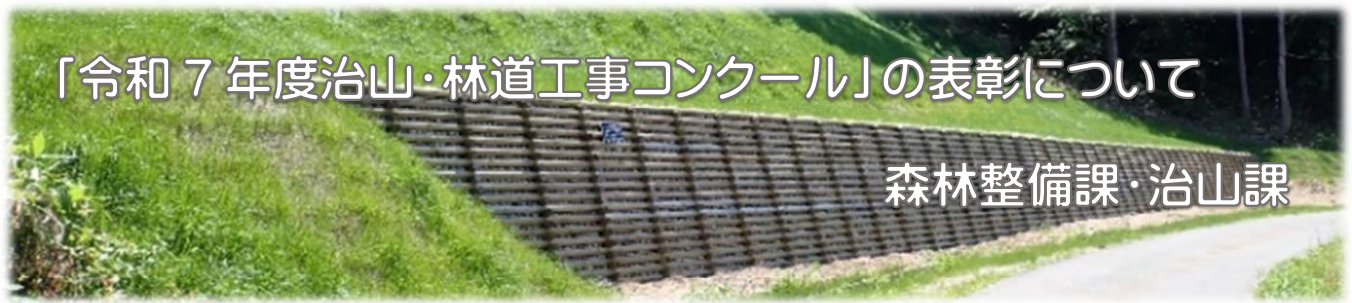
関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158
<https://www.ninya.maff.go.jp/kanto/>



【写真】房総丘陵のヒメコマツ（千葉森林管理事務所）

- ◎ 「令和7年度治山・林道工事コンクール」の表彰について 森林整備課・治山課 ・・・ 1
- ◎ 第29回「森林（もり）は友達！作文コンクールの受賞者決定」 東京事務所 ・・・ 8
- ◎ 「高齢級人工林の施業体系の確立」について（高齢級人工林の調査）
森林技術・支援センター ・・・ 10
- ◎ 「ラジコン式下刈り作業機の現地検討会」を開催 福島森林管理署白河支署 ・・・ 12
- ◎ 森づくり最前線 福島森林管理署白河支署 蓬田森林事務所 森林官 石井 賢司 ・・・ 13



令和8年2月24日、関東森林管理局において令和7年度治山・林道工事コンクールの表彰を行いました。

治山・林道工事コンクールは、国有林野の公益的機能を十分に発揮させ、森林・林業の再生の推進、その他の事業実施における施策効果の一層の発現に貢献した治山・林道工事であって、民有林の模範としてふさわしいものを表彰するものです。これにより、治山・林道工事における計画・設計・施工の適正化、設計・施工技術の向上、関係者の意欲高揚に資することを目指しています。

関東森林管理局管内では、令和6年度に完成した治山工事82件と林道工事42件のうち、署等から推薦のあった治山工事20件と林道工事4件について、学識経験者など3名の外部有識者を含む選考委員会が施工状況・出来ばえ等を総合的に審査し、特に優秀な5件の工事を林野庁へ推薦しました。その後、林野庁での審査により、治山工事2件と林道工事1件が林野庁長官賞を受賞しました。これらの工事については、2月17日に林野庁で開催された表彰式において表彰状の授与が行われました。

今回の関東森林管理局の表彰式では、林野庁長官賞を受賞した3件の工事の施工担当技術者及び監督職員と、その他に優良工事とされた7件の工事の施工会社に対して、関東森林管理局長賞の授与を行いました。



記念撮影（局長賞授与者（治山工事部門））



記念撮影（局長賞授与者（林道工事部門））

【林野庁長官賞、関東森林管理局長賞 受賞工事一覧】

林野庁長官賞

事業別	実行署名	工事名	施工者
治山	下越森林管理署村上支署	梨木地区復旧治山工事	(株)加藤組
治山	静岡森林管理署	表富士地区(市兵衛沢右支流外)復旧治山工事(R5補正)	佐野藤建設(株)
林道	静岡森林管理署	湯船(湯船)林道改良工事(R5補正)	小野建設(株)

関東森林管理局長賞

事業別	実行署名	工事名	会社名等
治山	利根沼田森林管理署	粟沢地区復旧治山工事	沼田土建(株)
治山	上越森林管理署	伏野区域(七百)直轄地すべり防止工事	(株)笠原建設
治山	天竜森林管理署	南西郷地区復旧治山工事	(株)川島組
治山	大井川治山センター	大井川地区(東河内)直轄治山工事(R5補正)	(株)ヤマエイ長島建設
林道	会津森林管理署	横向林道(2号橋)改良工事	(有)赤間造林土木
林道	群馬森林管理署	堂ノ入林道外改良工事(R5補正)	宮崎工業(株)
林道	千葉森林管理事務所	筒森(杉戸)林道災害復旧工事(R5補正)	丸一建設(株)

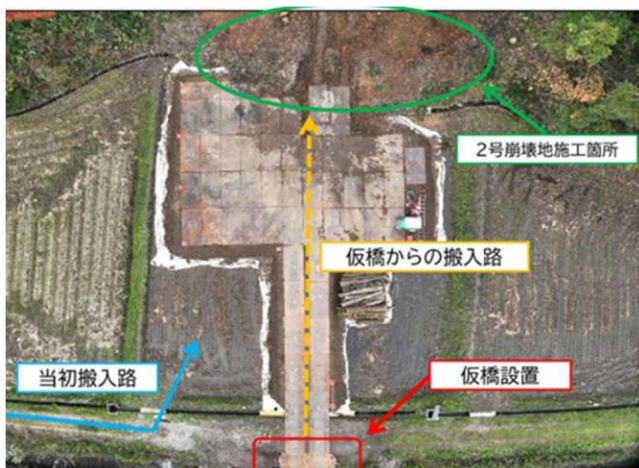
【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：梨木地区復旧治山工事

署等名：下越森林管理署村上支署 受注者：株式会社加藤組

本工事は、令和4年度の大雨により被災した箇所の土砂を固定するための土留工を設置するものです。保全対象の家屋や水田とも隣接していることから、重機や資材の搬入、施工時期など地元調整を積極的に行い、工程管理に支障が無いよう、地域のために早期復旧することを目指して作業環境を整備し、出来映えも良い工事でした。

このほか、近年は山地災害の激甚化が進み、山地災害からの効率的な復旧が課題となっている事を踏まえ、測量にレーザーレベルを使用することで、広範囲を効率的に測定したことや、ユニット式で施工性が良い木製枠土留工を採用するなど、工期の短縮を図ったことなどが高く評価されました。



仮設工における重機、資材運搬の工夫



完成状況

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：表富士地区（市兵衛沢右支流外）復旧治山工事（R5補正）

署等名：静岡森林管理署 受注者：佐野藤建設株式会社

本工事は、溪流の安定化を図るための谷止工や床固工を主体としたものです。現地は、火山灰質の粘性土、砂質土など、脆弱な地質である一方、床掘時においては硬質な火山岩や転石が露出するなど掘削作業に時間を要したほか、大雨の影響により施工中の施設に泥水の流入や手戻り作業が発生するなど、課題の多い工事でしたが、迅速な対応、処理を行った結果、出来映えも良く、無事故無災害で完成させることができました。

このほか、地域社会性等の貢献として、地元高校よりインターンシップ生の受入れ、周辺道路の除草等を行い地域社会に貢献したことが高く評価されました。



地元高校生の治山事業への就業体験



完成状況

【林野庁長官賞受賞工事】

工事名：湯船（湯船）林道改良工事（R5補正）

署等名：静岡森林管理署 受注者：小野建設株式会社

本工事は、地上型レーザースキャナーによる起工測量や、三次元設計データ作成、マシンガイダンスによるICT建設機械など、最新のICT技術を積極的に導入した施工を行い、施工時間の短縮に伴う作業の効率化や省力化、複雑な土工に対して精度の高い施工を行ったほか、当初より三次元測量を導入したことによるスムーズな施工管理を行いました。

このほか、支障木を活用した木柵の設置や、不法投棄防止のための警告看板設置など、地域貢献や創意工夫に取り組んだことが高く評価されました。



ICT作業土工の施工状況



完成状況

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：栗沢地区復旧治山工事

署等名：利根沼田森林管理署 受注者：沼田土建株式会社

本工事は、インフラ長寿命化画計画に基づく既設落石防護柵の緩衝材を交換するものであり、施工事例が少ない工事で、撤去した緩衝材については、ほとんどが腐朽していたことから撤去運搬に困難を伴ったほか、新たな緩衝材として用いる杉丸太を、手作業で設置する必要があるなど、施工の難易度が高い工事でした。

こうした状況にも関わらず、施工管理を適切に行い、計画的に工事を進め、作業スペース不足といった課題にも積極的に提案を行うことで、出来映えも良く、無事故無災害で完成させることができたことが高く評価されました。



緩衝材の腐朽状況（撤去前）



完成状況

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：伏野区域（七百）直轄地すべり防止工事

署等名：上越森林管理署 受注者：株式会社笠原建設

本工事は、土砂を固定し、斜面の安定化を図るための土留工を主体としたものです。豪雪地帯での工事であり、施工できる期間も限られた中で、資材の運搬距離が長く、時間がかかるなどの課題のある工事でしたが、綿密な資材、工程管理を行うことで、効率よく作業を進めることができ、降雪期前に完成させることができました。

このほか、資材の運搬に伴う大型車両が人家の近くを頻繁に往来することから、地元対応や交通安全の観点で、地元住民へ回覧板で周知するとともに、治山事業のPRのため、地域のイベントに参加し、ポスターや施工状況の情報発信を積極的に行うなど、地域住民との良好な関係を築いたことが高く評価されました。



治山事業、施工状況の紹介ポスター



完成状況

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：南西郷地区復旧治山工事

署等名：天竜森林管理署 受注者：株式会社川島組

本工事は、渓床を固定し安定化させるための、床固工の補修を1基、新設を1基行うものです。掘削箇所からの湧水による崩落や滞水等、難題が多く発生する工事であったにも関わらず、軟弱地盤に対しての杭基礎による地盤改良や、豪雨による管理道の被災に伴う補修など、優れた課題処理能力や技術力を発揮し、適時適切な工程管理により無事故、無災害で完了させることができました。

このほか技術提案として、VR映像による安全教育訓練や、CAD機能搭載の測量支援現場端末の活用などの先進的な取り組みを実施したことが高く評価されました。



軟弱地盤に対しての杭基礎施工状況



完成状況

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：大井川地区（東河内）直轄治山工事（R5補正）

署等名：大井川治山センター 受注者：株式会社ヤマエイ長島建設

本工事は、不安定土砂の流出を抑制させるための谷止工を新設するものです。令和2年度より上流から継続的に施工しており、令和6年度は最下流部の谷止工1基を施工しています。コスト削減のため、現地にある巨石を資材として利用するとともに、下流の洗堀防止のための根固工や、土砂や水流により摩耗しやすい放水路にも巨石を活用することで、あわせて構造物の保護を図っています。

このほか地域貢献として、施工地下流部にある施設の土砂除去作業や、静岡市が管理する林道東河内線の路面整備等を自主的に行った点などが高く評価されました。



現地発生 of 巨石を利用した根固工、放水路保護



完成状況

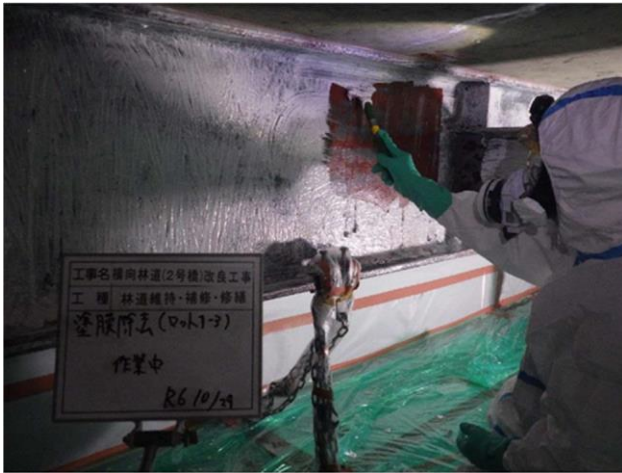
【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：横向林道（2号橋）改良工事

署等名：会津森林管理署 受注者：有限会社赤間造林土木

本工事は、関東森林管理局管内でも前例のない、特別管理産業廃棄物に分類されるポリ塩化ビフェニル(PCB)の剥離撤去及び回収の特殊な工事であり、林道の崩落等により、モノレールでの資材運搬を余儀なくされる、困難な箇所での事業でした。

受注者は各種法令の遵守はもとより、関東森林管理局主催の、PCB剥離に伴う現地検討会における現場説明への協力や、特別管理産業廃棄物の収集・運搬・処分業務を請負った事業者との調整等にも精力的に協力した点が高く評価されました。



塗膜除去作業



完成状況

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：堂ノ入林道外改良工事（R5補正）

署等名：群馬森林管理署 受注者：宮崎工業株式会社

本工事は、生活道路として利用されている堂ノ入林道について、舗装路面が経年劣化等により損傷している箇所の補修と、令和3年度の豪雨により路肩決壊が発生している白倉林道の復旧工事であり、いずれも地元からの復旧要望のある事業でした。

堂ノ入林道については、現地確認の際に、道路に水道管が埋設されていたことから、施工にあたっては、切削や掘り起しはせず、新しいアスファルトを塗り重ねる工法とし、白倉林道においては、現地発生材を利用した工法としました。これにより、コスト縮減に配慮した点が高く評価されました。



施工前の未舗装状況



完成状況

【関東森林管理局長賞受賞工事】

工事名：筒森（杉戸）林道災害復旧工事（R5補正）

署等名：千葉森林管理事務所 受注者：丸一建設株式会社

本工事は、台風による豪雨の影響で林道の法面崩落が発生したことによる、林道施設災害復旧事業です。

現場は勾配も急で、降雨等による影響を受け、計画通りの工程での作業は困難な状況でしたが、受注者の提案により、切土掘削法面は高所掘削機械（無人）を使用することで、安全に作業を行う事ができたほか、施工性の高い資材に変更した結果、工事期間の短縮を図ることができた点が高く評価されました。



高所掘削機械（無人）での作業状況



完成状況

あらためて受賞された皆様にお祝い申し上げます。

関東森林管理局では、今後も本コンクールをはじめ、国有林野の公益的機能が十分に発揮されるよう、取組みを進めてまいります。

今月の表紙

「房総丘陵のヒメコマツ」（千葉森林管理事務所）

房総丘陵には山地性の針葉樹であるヒメコマツが分布しており、関東地方のヒメコマツの分布域は、ほとんどが標高 500m以上の高山帯に分布しているのに対し、房総丘陵ではほとんどが標高 400m以下の暖温帯に生育し特異な分布となっています。

また、松くい虫の被害等により個体群が急激に縮小していることから、2008年に千葉県等と「ヒメコマツ保全協議会」を発足しており、当所で実施しています。

ヒメコマツ保全の取組については、薬剤の樹幹注入、稚樹を獣害から守るため一部であります保護柵の設置を行っています。



樹幹注入



稚樹



保護柵

第29回「森林(もり)は友達！作文コンクールの受賞者決定」

東京事務所



高尾森林ふれあい推進センターの森林教室に参加された小学生の皆さん

令和8年2月26日、一般社団法人東京林業土木協会主催（関東森林管理局東京事務所協賛）の第29回「森林(もり)は友達！作文コンクール」の表彰式が東京事務所で行われました。この作文コンクールは、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県に所在する森林管理署及び、高尾森林ふれあい推進センター等が行った森林教室や林業体験等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを作文にしてもらうことにより、森林・林業に対する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的としています。平成9年から毎年開催されており、今年で29回目を迎え、総参加者数は3万5千人を超えました。

今回は学校など14団体から1,029名の参加がありました。

一次審査と二次審査を通過し、最終審査の対象となった20作品の中から、最優秀賞（林野庁長官賞）1点、優秀賞（関東森林管理局賞3点のほか入賞作品12点が決定しました。最優秀賞（林野庁長官賞）は、東村山市立南台小学校5年生の土屋華奏さんの「森林が教えてくれたこと」が受賞しました。「森林が自然災害を防いでいること」、「森林が酸素をつくっていること」の森林が果たす貴重な働きを2つ挙げ、「安全第一で丁寧に森林を育てている」と林業従事者に思いを馳せていました。また、「国産の木があまり利用されておらず、利用量を増やすための取り組みをしている」と記しました。そして最後に「木を切ることは悪くない。植えることが大切」、「森林にもっと出かけて親しみたい」と素直な気持ちが表れた素晴らしい作品でした。



スライドを用いた森林教室



最優秀賞を受賞した土屋さん

また、森を守るためにできる取り組みの一つが国産の木でできた製品を使用することであると記した作品（優秀賞（関東森林管理局賞）：八王子市立元八王子東小学校5年生岡田明希歩さん）、森林に対してのイメージが「自然豊かな場所」から「地球の環境や問題と深くかかわっているもの」に変わったという作品（同：多摩市立連光寺小学校5年生寺尾明莉さん）、「自然環境について知りルールを守ること」と「自然の保護と快適な利用の両立について考え、自分にできることをすること」が高尾山や自然を守るために必要なことであるとまとめた作品（同：八王子市立第3小学校5年生

深谷梨乃さん) など、いずれも様々な気づきや感動が記された素晴らしい内容でした。

小林審査委員長から「今年も素晴らしい作品ばかりで、森林教室等の体験を通して子供らしい感動や感謝の気持ちが表現されていた」と挨拶があり、最優秀賞の土屋さんが自らの作文を堂々と朗読しました。その後、森山東京事務所長から「今回皆さんが森林教室に参加され、これまでとは違った見方で森林を見ることができ、多くのことを学び、感じていただいたことに深く感銘を受けました。今回の受賞を契機に森林の素晴らしさをご家族や友達に広めていただきたいと思います」とお祝いの言葉がありました。受賞された皆さんの誇らしげな顔がとても印象的でした。受賞された皆さんの作品名と最優秀賞の作文を東京事務所のホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

この作文コンクールは令和8年度も実施される予定です。多くの皆さんに森林教室や林業体験などに参加していただき、その思いを作文にさせていただきたいと考えています。



受賞者された皆さん

第29回「森林は友達！作文コンクール」受賞者

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ★ 最優秀賞（林野庁長官賞） | ★ 努力賞（東京林業土木協会長賞） |
| 土屋 華奏（東村山市立南台小学校5年生） | 佐藤 いろ葉（中野区立中野本郷小学校5年生） |
| ★ 優秀賞（関東森林管理局長賞） | 鈴木 宇美（相模女子大学小学部4年生） |
| 岡田 明希歩（八王子市立元八王子東小学校5年生） | 関 瑛里香（横浜市立菊名小学校4年生） |
| 寺尾 明莉（多摩市立連光寺小学校5年生） | 中澤 晴人（八王子市立大和田小学校5年生） |
| 深谷 梨乃（八王子市立第三小学校5年生） | 森田 光博（八王子市立上川口小学校5年生） |
| ★ 優良賞（東京林業土木協会長賞） | 任 嘉月（相模女子大学小学部4年生） |
| 兼松 優月（甲府市立相川小学校5年生） | |
| 齋藤 俊太（多摩市立連光寺小学校5年生） | |
| 寺部 遼太（西東京市立谷戸小学校5年生） | |
| 遠西 真緒（八王子市立浅川小学校5年生） | |
| 中本 光優（西東京市立谷戸小学校5年生） | |
| 道脇 灯（八王子市立第三小学校5年生） | |

『高齢級人工林の施業体系の確立』について

(高齢級人工林の調査)

森林技術・支援センター

森林技術・支援センターでは、林野庁統一課題である「超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用」、関東森林管理局独自課題の「造林保育作業の省力化に必要な苗木空間の把握」などの技術開発課題に取り組んでいますが、このほかにも溪畔林の再生試験等様々な試験地を設定し調査を実施しています。本号では、その中から「高齢級人工林の施業体系の確立」を目指すための試験地及び調査方法について紹介します。

茨城県内の国有林には、藩政時代から明治期にかけて植栽された樹齢 100 年を超える高齢な人工林（高齢級人工林）が点在しています。そのうち約 120～300 年生の高齢級人工林を対象とした試験地を、北は太子町から南は石岡市の 18 カ所に設けました。

この試験地調査は、長伐期施業（伐期年齢を長期化した施業）と高齢級人工林の林分構造の違いなどのデータを得ることで、これらを適切に管理するための知見を収集し、今後の人工林施業に役立てることを目的としています。



御前山試験地（茨城県城里町 御前山国有林）

試験地の位置図



本試験地の調査期間は平成 13 年度から令和 9 年度までの計画ですが、各試験地の成長量調査は 5 年に 1 回の周期で実施しています。今年度は、その調査実施年にあたることから、職員総出で調査を実施しているところです。

各試験地の調査方法ですが、各試験地には 50m×50m のプロットが設定されており、区域内の一本一本に割り振られている番号を確認し、前回の調査値と比較しながら、胸高直径（地際から 120cm の高さで測った樹木の幹の直径）は直径巻き尺を使用して胸高周囲長を、樹高はバーテックス（樹木の高さを測る機器）を使用して計測していきます。

100 年を超える林齢となっている林分のため、胸高周囲長 200 cm 超、樹高は 35m を超えるものが多くあります。このため、胸高周囲長は一人で計測することは困難で、写真 2 のようにバーテックス受信機操作者の助けを借りながら計測していきます。その後を追うようにペンキ塗布役が単木毎の番号を次回の調査のため、絵筆を使用して書き直します。こうして一本の調査が完了こととなりますが、更に下層にある更新木の樹種と樹高の調査も併せて行います。

このように、地道な作業が続く試験地調査ですが、高齢級人工林の詳しい動態は明らかではなく、今もなお不明な点が多いものと認識されています。先人達が残してくれた貴重な財産を活用し調査を進めることで、今後増加が見込まれる高齢級人工林を適切に管理するための指標を確立するため、今後とも取り組んでまいります。



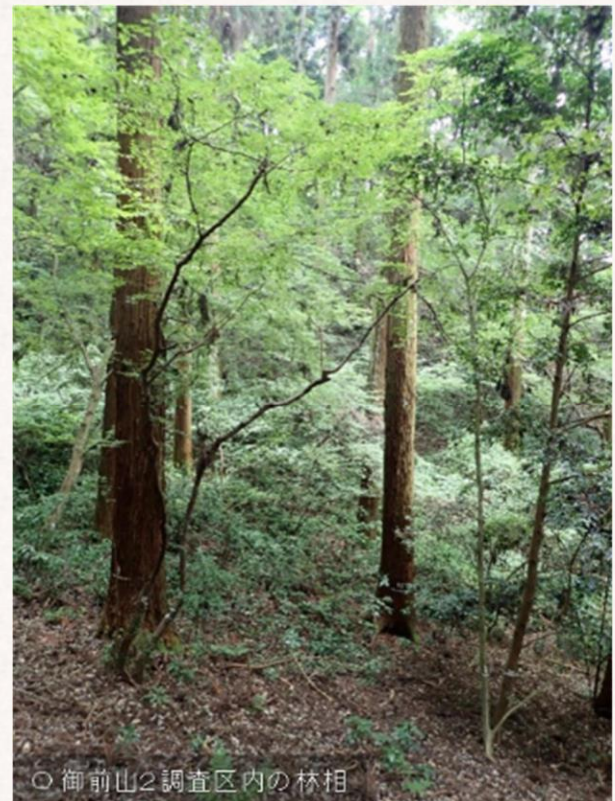
写真1 御前山試験地の調査



写真2 佐白山試験地での調査

2026.4現在 試験地一覧

No.	名称	樹種	林齢	植栽年
①	中ノ内沢	スギ	225	1802
②	愛林の森	スギ	117	1910
③	尺丈山1	スギ	120	1907
④	尺丈山2	サワラ	115	1912
⑤	七内	ヒノキ	116	1911
⑥	桧山	スギ	125	1902
⑦	成沢	ヒノキ-広	178	1849
⑧	不動山	サワラ	274	1753
⑨	御前山	スギ	173	1854
		ヒノキ	173	1854
⑩	清音寺	ヒノキ	244	1783
⑪	内山	ヒノキ	121	1906
⑫	道木橋	ヒノキ	126	1901
		ヒノキ	122	1905
⑬	仏頂山	ヒノキ	301	1726
		スギ	156	1871
⑭	佐白山	ヒノキ	201	1826
⑮	筑波 道路下	ヒノキ	126	1901
⑯	筑波 400本下	ヒノキ	126	1901
⑰	つくばね	ヒノキ	117	1910
⑱	月の折	サワラ	125	1902



御前山試験地内の林相の様子

「ラジコン式下刈り作業機の現地検討会」を開催

福島森林管理署白河支署

令和8年3月11日、白河市表郷地区において、筑水キャニコム社製のラジコン式下刈り作業機「山なみ傾子」の現地検討会を実施しました。

近年、主伐・再生林の増加に比例し、下刈り等の保育作業も増加していますが、下刈り作業は主に夏季に行われ、炎天下の傾斜地で刈払機を使用する過酷な作業であること、熱中症やハチ刺され、マダニ感染症のリスクが高いこと等、高い労働負荷に加えて危険を伴う作業であり、省力化・軽労化や、安全性向上を図る必要性が高まっています。



参加者による操作体験



本検討会は、「山なみ傾子」の実演・操作体験を通して、下刈り作業の負担軽減に資することを目的としたものであり、近隣の地方公共団体、林業事業体、福島県内森林管理署等の職員など64名に参加いただきました。



傾斜地を走行する「山なみ傾子」

参加者は、筑水キャニコム社から、上り下り傾斜40度、等高線方向も傾斜40度の作業に対応することや、最低地上高を高くしたことで凸凹や根株等も乗り越えること、刈幅1mで植栽間隔の変更や植栽木を損傷する恐れがないなどの説明を聞き、「山なみ傾子」が傾斜地で刈り払いする様子を熱心に観察し、自らも操作体験するなど、利点や課題を検討されている様子でした。「山なみ傾子」は、開発途中の機械であるとのことで、今回の現地検討会の参加者からの意見等も反映していただき、より現場で実用性等のある機械になってもらえればと思います。

今後も、福島森林管理署白河支署は、森林施業の負担軽減や安全性向上の一助となるような現地検討会の開催等に積極的に取り組んでまいります。

GREEN×EXPO 2027 ～幸せを創る明日の風景～

2027年3月19日（金）から9月26日（日）まで、GREEN×EXPO 2027が神奈川県横浜市で開催されます。日本における最上位クラス（A1）の開催は1990年大阪花の万博以来、37年ぶりです。1,000万株の花と緑が世界中から集結して「幸せを創る明日の風景」を創り出し、様々な展示や体験を通じて、グリーン社会や自然との共生について考えるきっかけをもたらします。

詳細はこちら ▶ <https://expo2027yokohama.or.jp/>

チケットサイトはこちら ▶ <https://ticket.expo2027yokohama.or.jp/>



メインガーデンイメージ（2026年3月現在）

画像提供：GREEN×EXPO協会



©Expo 2027

森づくり最前線

福島森林管理署白河支署 蓬田森林事務所 森林官 石井 賢司

私が勤務する蓬田森林事務所は、福島県南東部に位置する須賀川市、平田村と玉川村にかかる阿武隈山系約2,700haの国有林を管理しており、アカマツを主体とした人工林が多く、標高約500mの高地にあります。管内にある東北百名山のひとつ「蓬田岳（標高952m）」は平田村のシンボルとされ、登山道入口から山頂までは約1時間で登ることができ、気軽に登れる人気の山です。山頂からは東に太平洋、西に那須連峰を望むことができ低山ながら多彩なコースが開かれており、初心者から中級者まで楽しめ、県内はもちろん県外からも多くの登山者が訪れます。



蓬田岳を望む



「ジュピアランドひらた」の芝桜

また、平田村のシンボルである蓬田岳麓の自然を生かした、「ジュピアランドひらた」（平成26年度に平田村に売却）の2.3haの敷地には、約26万株もの芝桜が植栽されており、例年4月下旬から5月中旬に開催される「芝桜まつり」の期間中には、ピンクや赤の芝桜が一斉に咲き誇り、満開時には、花の絨毯を敷き詰めたような光景が広がります。令和7年度には、年間約62,000人の入込者があったとのことでした。



世界のアジサイ園

同敷地内にある「世界のアジサイ園」の5haの敷地には、27,000株の人気の高い品種や新しい平田オリジナルのアジサイが825種類植栽され、夏には世界にあるほとんどの種類のアジサイを観ることができます。平成30年には、ギネス世界記録タイトル「展示されたアジサイの最多品種数 Most varieties of hydrangea on display」にも認定されました。最近では「ジュピアランドひらた」に隣接する国有林の伐採跡地に、平田村からの地域の要望があり、下段には広葉樹、上段にはカラマツを植栽することになりました。秋の紅葉を楽しめる場としても期待されています。

終わりに私事ですが、蓬田森林事務所の森林官として、令和8年度で5年目に入ります。令和7年3月に定年退職を迎え再任用2年目を迎えています。

近年では、部分林等が伐期を迎え造林地が増加し、造林事業が増加し、退職前より忙しい状況ですが、やりがいのある日々を過ごしています。

今後については、後任の森林官にスムーズなバトンを繋ぐために仕事に邁進していきたいと思っております。



事業者へ安全指導を行う筆者